# ココがききたいQ&A



## 辻 達広（つじ たつひろ）議員

二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

### 住む場所で行政サービスに差が出ない施策を

**支所機能の充実を推進**

**Q. 支所の来庁者数や相談内容、本庁を案内した件数を記録し、支所機能の見直しにつなげる考えはないか。本庁のみで受け付けている手続を点検し、申請の受付だけでも支所で行える業務を拡大する考えはないか。**

A. 支所の来庁者数や本庁へ案内した件数等については、合理的な把握手段がありませんので、把握できる集計データの動向を注視し、引き続き日々の業務の中で来庁される方々の声に耳を傾け、状況の把握に努めます。また、提案のありました1か月程度のサンプル調査については今後の検討を考えています。支所の取扱業務については、新たなサービスを実施する際には関係部署と協議の上、可能なものは実施していきます。

**意見** **香取市は、遠隔相談窓口を意義のある施策として調査・研究すると答弁しました。今後、早急に具体的な導入を求めます。**

**移住・定住と支所機能は**

**Q. 成田空港の機能強化により従業員が約3万人増加すると見込まれる中、転入者にとって身近な支所の存在は生活利便性を左右する。移住・定住政策と支所機能の充実を一体的に考える必要があるのではないか。**

A. 転入後の各手続や専門的な子育て福祉等の相談については、効率的で正確な事務処理を行うため、現在は本庁各課での対応になっています。人口増加につなげるための行政サービス等は、複数の担当部署が連携し一体的に検討を進める必要があります。支所機能の充実についても、これらを検討する中で、必要に応じて関係各課と連携し検討を行っていきます。

**意見** **香取市は、空き家活用や新たな公共交通を検討するとのことですが、住宅、交通、子育て、教育、支所サービスを一体で進めるべきだと思います。**

**期日前投票の投票機会は**

**Q. 令和8年4月の選挙では、本庁の期日前投票所は午後8時まで、小見川・山田・栗源の各支所は午後6時までで、1日2時間の差があった。12月の市議会議員一般選挙でも同様の時間設定を予定しているか。**

A. 4か所の期日前投票所では、どなたでも投票ができる体制を整えています。午後6時以降については、本庁で地域を問わず、どなたでも投票していただける状態です。住んでいる地域によっては不便な場合もありますが、投票の機会は、確保されていますので、午後6時以降は本庁で期日前投票をしていただきたいと考えています。

**意見** **支所を証明書交付の窓口にとどめず、ICTによる遠隔相談や申請支援を備えた地域拠点として機能強化し、住む地域による行政サービスの差をなくす施策が必要です。**







## 林 繁行（はやし しげゆき）議員

二次元コードからスマホで質問の内容や録画が見られます。

### 安心して暮らせるまちへ 持続可能な農業の実現

**Q. 香取市が設置している防犯カメラの台数は。**

A. 香取市では、犯罪の防止と市民生活の安全を確保するため、香取警察署と設置場所について協議し、交差点や駅前などを中心に、佐原地区に10基、小見川地区に8基、山田地区と栗源地区に各2基、合計22基を設置しています。また、各設置場所周辺には5か国語で併記した「防犯カメラ作動中」の小型看板を設置しています。

**意見** **防犯カメラは、窃盗や車上荒らしなど計画的犯罪に明確な抑止効果があります。子供たちや市民の財産、そしてフルーツ等農産物を守るためにも、人口1千人当たり1台の道路上の防犯カメラの設置を求めます。**

**Q. 田畑のイノシシ等による獣害について捕獲の状況は。**

A. 有害鳥獣の捕獲計画に基づき行われる、主な捕獲対象であるイノシシ、ハクビシン、アライグマの令和7年度の捕獲実績は、イノシシが計画140頭に対して実績140頭、ハクビシンが計画200頭に対して実績68頭、アライグマが計画150頭に対して実績145頭です。

**意見** **農地の集約化も進み、獣害が出ているところが自分の所だけという方もいます。現在は受益戸数原則3戸以上の集落単位のみの助成だけですが、個人一人でも獣害対策の電気柵の助成金が受けられるよう求めます。**

**Q. 主食用米から米粉用米等への転換促進の支援策は。**

A. 香取市では主食用米の需給調整を図りながら、国の水田活用の直接支払交付金及び千葉県飼料用米等生産支援事業を活用して支援するほか、飼料用米及びホールクロップサイレージ（WCS）用稲の取り組みに対して、香取市の単独事業である香取市水田利活用自給力向上推進奨励金を交付しています。

**意見** **香取市水田利活用自給力向上推進奨励金で、輸出向けの奨励金や畜産農家が市内生産のホールクロップサイレージ（WCS）を加工した稲発酵粗飼料利用の奨励金を求めます。**

**Q. 「農村おでいコンポ」の肥効試験や栽培試験は行ったのか。**

A. 農村おでいコンポは、農業集落排水施設から発生した汚泥を原料に製造した堆肥であり、平成21年2月に汚泥肥料として登録しました。登録に際し、実際に作物を栽培して、肥料の効果を確認する肥効試験と、発芽から収穫までの生育状況を確認する栽培試験を行っています。その結果、肥料の安全性と、作物が正常に生育することを確認しています。

**Q. 食育基本法に関し第5次基本計画が決定したが、香取市食育推進計画を見直さないのか。**

A. 香取市の食育推進計画については、総合的に健康づくりを推進するため「健康かとり21」の中に一本化した計画として策定しています。現行の第3次「健康かとり21」は令和8年度までを計画期間としています。そのため、現在、令和9年度からの新たな第4次「健康かとり21」の策定に向け、国の第5次食育推進基本計画も踏まえた見直し作業を行っています。